

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
令和3年度事業点検・評価調査

4-Ⅱ-7

4-Ⅱ-7

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	ガイダンス施設整備
節	Ⅱ. ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	7 サテライトガイダンス施設整備	事業主体	佐渡市社会教育課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	県文化行政課、佐渡市世界遺産推進課、佐渡市観光振興課
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界遺産の価値を分かりやすく来訪者へ伝えるため、メインガイダンス施設の整備状況に応じてサテライト施設の整備を進める。</li> </ul> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ サテライトガイダンス施設の機能整理及び整備を進める。</li> </ul> <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ サテライトガイダンス施設として、令和4年度着工予定の相川郷土博物館耐震改修工事を行うことにより、来訪者へ世界遺産の価値を分かりやすく伝える。</li> </ul>		
これまでの取組実績	<p>【R元年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● インバウンド対策として外国語を併記した平面図の作成及び設置を行った。また、各部屋の機能が分かるような説明を入れた案内資料の作成及び設置を行った。</li> <li>● メインガイダンス等への誘導のため、佐渡奉行所周辺の案内パネルの作成及び設置を行った。</li> </ul> <p>【R2年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 相川郷土博物館耐震改修工事の基本設計に必要な地盤調査や建物調査を実施した。</li> <li>● 史跡専門家会議や文化的景観専門家会議にて相川郷土博物館耐震改修工事の基本設計案を示し、専門家からの意見を得ながら設計を行った。</li> <li>● 相川郷土博物館耐震改修工事の基本設計が完了した。</li> </ul>		
事業計画と実績	<p>【R3年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 相川郷土博物館耐震改修工事の実施設計を行う。</li> <li>● サテライトガイダンス施設としての展示内容を実施設計に反映させる。</li> <li>● 佐渡奉行所の映像資料作成に向けた調査を行う。</li> </ul> <p>【R3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民をメンバーに加えた展示検討会を設置し、市民目線での意見を踏まえ、サテライトガイダンス施設(相川郷土博物館)の展示内容を検討した。</li> <li>● 史跡専門家会議や文化的景観専門家会議にて相川郷土博物館耐震改修工事の実施設計案を示し、専門家からの意見を踏まえて設計を行った。</li> <li>● 相川郷土博物館耐震改修工事の実施設計が完了した。</li> </ul>		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 相川郷土博物館の耐震改修工事に伴い、施設が長期の休館になってしまうため、その間の展示の代替策が必要である。</li> <li>■ 立地する土地が石垣で覆われた構造になっており、建物に影響を与える状態か否かの調査が必要になった。</li> </ul> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 令和4年度に相川郷土博物館耐震改修工事を開始(令和5年度末竣工予定)</li> <li>■ 石垣の移動の有無を確認するための測量調査</li> <li>■ 長期休館になる相川郷土博物館の代替展示</li> <li>■ 令和5年度に史跡佐渡奉行所跡改修事業を開始予定</li> </ul>		
事業評価	<p>【ゴールに対するR3末の達成度】 ◇ 史跡である相川郷土博物館の痕跡調査を実施して、博物館として開館した昭和時代の姿に復元するための材料を揃えることができた。展示検討会を設置して市民の意見を取り入れた展示構成に仕上がりに、定どおりに実施設設計書を完成させることができた。</p> <p>[ A・B・C ]</p>		

A: 予定を上回る進捗  
B: 概ね予定どおり  
C: 遅れている。